

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 050	提案機関名 農業技術センター足柄地区事務所
要望問題名 灰星病と疑われるウメの枝枯れ症状に対する効果的な農薬の選択について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 ウメの枯れ枝症状の原因究明と対策は、既に生産環境部で取り組んでいます。現地では平成27年度に、広域にわたって多発しており、対策が急がれます。 防除のポイントは枯れ枝の除去と開花時の農薬散布とされます。使用農薬は、大分県では2剤を推奨していますが、本県で発症している枯れ枝症状での効果は不明です。そこで、本県発生の枯れ枝症状に効果的な薬剤の調査について要望します。 また、併せて、本県での主要品種の十郎等の開花時使用における薬害の有無について、調査を希望します。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部病害虫研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 病害虫の診断同定および発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立		
対応の内容等	平成27年度からウメの枝枯れ症状の調査をしています。枝枯れ症状部分からは <i>Monilinia</i> 属菌が優占的に分離されることから、ウメの枝枯れ症状は灰星病の病徴と考えています。 本県ではウメ灰星病の防除事例が少ないため、収穫量や病害虫防除指導指針へのウメ灰星病の記載の有無などから、平成27年度、国内の17都府県にウメ灰星病の防除時期や防除薬剤などについて聞き取り調査を行いました。そこで、平成28年度からは、今年度の聞き取り調査を踏まえ、開花期を中心に、ウメの主要品種でウメ灰星病に対する薬剤の防除効果や開花期の薬害調査を行います。 今後も現地でのウメの枝枯れ症状の発生調査や薬剤の防除効果の調査などへの協力をお願いします。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			